

医療検査学科

臨床検査技師には病める人の視点に立てる人間性を備え、深い専門性と研究心を持ち、医療チームの一員として関連各分野のスタッフとの円滑なコミュニケーション、良好なリレーションシップを築くことが求められる。また、臨床検査技師が果たすべき役割は、遺伝子診断、生殖補助医療技術への参画、再生医療などの先端生命科学に関わる検査、診断と治療に欠かせないリアルタイムでの細胞診検査をはじめとする緊急検査、救急医療に関わる検査の実施、診断判別と治療成果の判断に寄与できるデータの提供、医療情報の管理、医療廃棄物管理、コスト管理、院内感染防止対策など、近年とみに多様化してきており、医療関連職種間での優れた業務調整能力、危機管理能力、指導力などが求められるので、本学科においては以下の教育理念および教育目標を掲げる。

【教育理念】

豊かな人間性と高い倫理観を持ち、臨床監査に関する専門的な知識と技術を修得し、医療チームの一員として地域社会はもとより、国際社会においても貢献できる人材を育成する。

【教育目標】

1. 医療に携わるものとしての、豊かな人間性と高い倫理観を養う。
2. 臨床検査に関する専門的な知識・技術を修得し、医療の高度化に適応できる確かな基礎力と応用力を養う。
3. 科学的思考力と研究的態度を身につけ、臨床検査の開発・発展に貢献できる能力を養う。
4. 責任感と協調性を身につけ、チーム医療の一員として活躍できる能力を養う。
5. 時代や社会の要請に応じ、地域社会や国際社会で保健医療の向上に貢献できる能力を養う。

【アドミッションポリシー】

1. 臨床検査あるいは保健医療の分野で社会に貢献したいと考えている人
2. 人に対する興味をもち、思いやりをもって接することができる人
3. 知的好奇心が旺盛で、物事を科学的な視点で捉えようとする人
4. 保健医療の分野を学ぶために必要な基礎学力を備えた、学修意欲のある人

高等学校等の学習を通して数学、理科、英語について基本事項を正確に理解していること、および高校生活を通して日本語力とコミュニケーション能力を鍛えておくことが望まれます。

【カリキュラムポリシー】

学科の教育目標に掲げる優れた医療人を養成するため、臨床検査技師養成の指定大学として、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。

教育課程を「基盤教育分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3つに区分し、各分野の連携により体系的な学修が可能となるように配置した。

1. 「基盤教育分野」は「学びの始め科目群」「人間探究科目群」「創造実践科目群」の3群に区分した。「学びの始め科目群」には学び方の基礎を修得し主体的な学びを促す科目、「人間探究科目群」には幅広い教養を身につけ、豊かな人間性と高い倫理観を育む科目、「創造実践科目群」には自らの手で新しい価値を創造し、他者との関わりの中で生きる力を修得する科目を配置した。
2. 「専門基礎分野」は、多様な専門科目を学修する上で必要とされる知識・技術に関する基礎的な科目を配置した。
3. 「専門分野」には、臨床検査の専門的な知識・技術を修得する科目、および医療の高度化に対応できる基礎力・応用力を身につける科目を配置し、「形態検査学系」「生物化学分析検査学系」「病因・生体防御検査学系」「生理機能検査学系」「臨床病態学・検査管理学系」および「総合・発展医療検査系」の6領域に区分した。各領域は講義と実習または演習で構成し、検査の知識と技術・実践を有機的につなげて理解できるようにした。さらに、「総合・発展医療検査系」では他の領域で得た知識を統合して発展させる科目、医療の場での実践的能力を養う科目や、研究的態度を養うための科目を配置し、保健医療に貢献し臨床検査の発展に寄与できる臨床検査技師の育成が可能となる編成とした。

【ディプロマポリシー】

1. 医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける。
2. 医療検査に必要な基礎知識および基本的な専門知識を修得する。
3. 医療検査の実践に必要な基本的技術を修得する。
4. 医療の発展に寄与できる問題解決能力、自己研鑽力を身につける。

【取得できる資格】

1. 臨床検査技師国家試験受験資格
2. 第一種衛生管理者免許

【履修要領】

I. 卒業所要単位

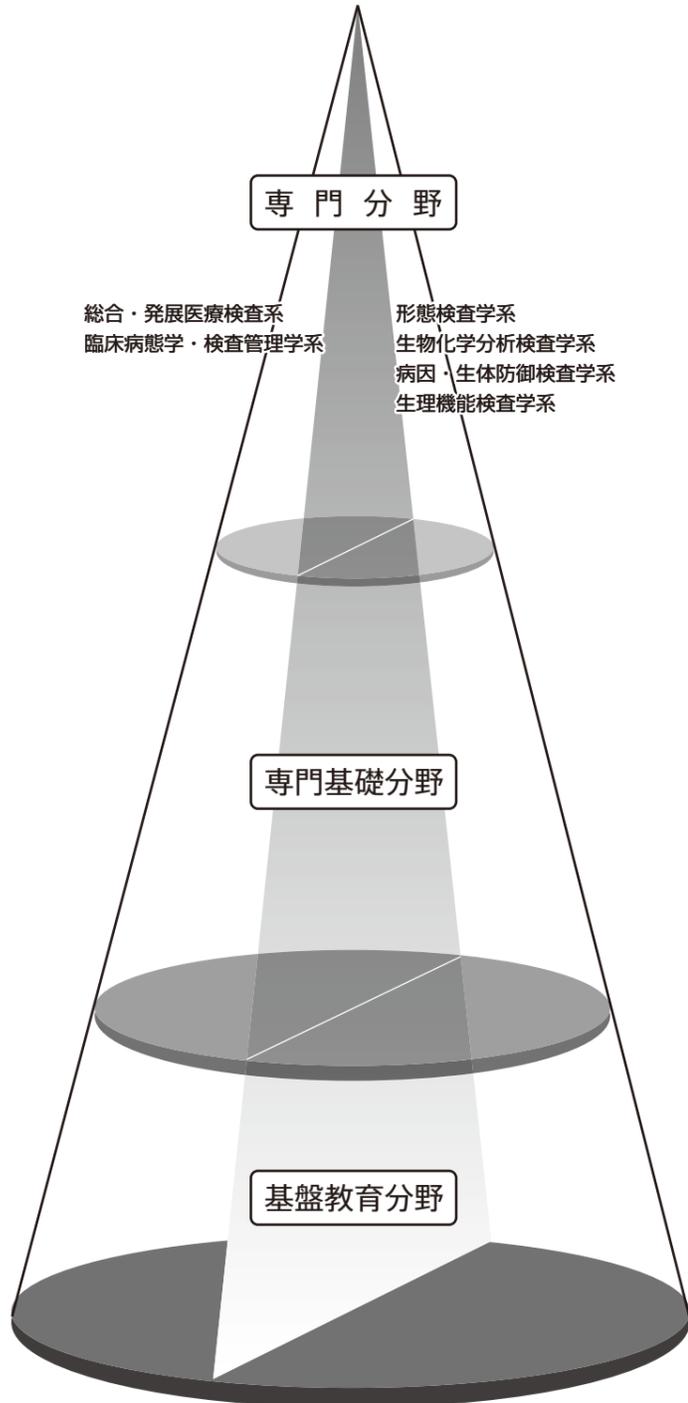
医療検査学科においては、本学に4年以上在学し、124単位以上を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。124単位の内容は次のとおりである。

1. 必修科目については、基盤教育分野から9単位、専門基礎分野から31単位、専門分野から63単位、合計103単位を修得する。
2. 選択科目については、専門基礎分野の①*印の選択科目および専門分野の②※印の選択科目から11単位以上修得するとともに、すべての選択科目から10単位以上、合計21単位以上を修得する。

医療検査学科のカリキュラム概念図とカリキュラム編成

医療検査学科 教育理念

豊かな人間性と高い倫理観を持ち、臨床検査に関する専門的な知識と技術を修得し、医療チームの一員として地域社会はもとより、国際社会においても貢献できる人材を育成する。



【カリキュラム概念図】

教育目標

1. 医療に携わるものとしての、豊かな人間性と高い倫理観を養う
2. 臨床検査に関する専門的な知識・技術を修得し、医療の高度化に適應できる確かな基礎力と応用力を養う
3. 科学的思考力と研究的態度を身につけ、臨床検査の開発・発展に貢献できる能力を養う
4. 責任感と協調性を身につけ、チーム医療の一員として活躍できる能力を養う
5. 時代や社会の要請に応じ、地域社会や国際社会で保健医療の向上に貢献できる能力を養う

| カリキュラムポリシー | 年次経過 分野/区分 | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 卒業要件 | ディプロマポリシー |
|--|--|--|--|---|---|---|--|---------------------------------|-------------|---|--|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| カリキュラムポリシー 臨床検査の各領域に関する専門知識・技術を学び、修得した知識を統合・発展させ、保健医療に貢献できる実践能力および研究的態度を養う科目を編成 形態検査学系 生物化学分析検査学系 病因・生体防御検査学系 生理機能検査学系 臨床病態学・検査管理学系 総合・発展医療検査系 | 専門分野 総合・発展医療検査系 臨床病態学・検査管理学系 形態検査学系 生物化学分析検査学系 病因・生体防御検査学系 生理機能検査学系 | | | 医療英語(1) | 細胞培養演習(1) 労働衛生学Ⅰ(2)** ※④ BLSキャリアパスⅠ(1) | 国際保健医療活動Ⅱ(1) 遺伝子工学(1) ※③ チーム医療論(1) BLSキャリアパスⅡ(1) | 臨床病態学特論(1) 分子感染制御学演習(1) 臨床検査学発展演習(1) 対人援助技術演習(1)** ※④ 予防医学概論(1)** 文献講読(1) 先進医学検査学(1) バイオインフォマティクス(1) 遺伝子工学演習(1) 医学検査サブリエメント演習Ⅰ(1) | ← 卒業研究(4) → | | 必修 63 単位 ※② ※③ より選択(1) 単位以上 ★ 以外で ※① ※② ※③ より選択(10) 単位以上 合計 124 単位以上 | 4. 医療の発展に寄与できる問題解決力、已研鑽力をつける 3. 医療検査に必要な技術修得する 2. 医療検査に必要な基礎的な知識、専門知識を修得する 1. 医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける |
| | | | | | | 臨床病態学Ⅰ(病因・病態)(1) 検査管理総論(2) 医療安全(1) | 臨床病態学Ⅱ(病態解析)(1) 臨床検査学演習(1) 感染制御学(1)** 検体採取安全管理演習(1) 臨床実習(7) | 臨床病態学Ⅲ(発展)(1) 医療コミュニケーション(1) | 総合医学検査演習(1) | | |
| | | | 医動物学・同実習(2) | | 臨床病理検査学(1) 臨床病理検査学実習Ⅰ(1) 血液検査学(1)** | 臨床病理検査学実習Ⅱ(1) 血液検査学実習Ⅰ(1) 細胞検査学(1) | 血液検査学実習Ⅱ(1) | | | | |
| | | | | 基礎検査学(2)** | 臨床化学検査学Ⅰ(1) 遺伝子・染色体検査学(2) 基礎検査学実習(1) | 臨床化学検査学Ⅱ(2) 遺伝子・染色体検査学実習(1) | 臨床化学検査学実習(2) | | | | |
| | | | | 病原微生物検査学実習Ⅰ(1) | 免疫検査学(1) 病原微生物検査学Ⅰ(1)** 病原微生物検査学実習Ⅱ(2) | 免疫検査学実習(1) 輸血・移植検査学(1) 病原微生物検査学Ⅱ(2)** | 輸血・移植検査学実習(1) | | | | |
| | | | | 生理機能検査学ⅠA(1)** 生理機能検査学ⅠB(1)** | 生理機能検査学ⅡA(1) 生理機能検査学ⅡB(1)** 生理機能検査学実習Ⅰ(1) | 呼吸・循環機能検査学(1) 画像検査学(1) 生理機能検査学実習Ⅱ(1) | 生理機能検査学演習(1) | | | | |
| 専門基礎分野 多様な専門科目を学修する上で必要とされる知識・技術に関する基礎的な科目として設置 | 専門基礎分野 自然科学系 基礎医学系 社会医学系 情報工学系 | 基礎化学(1) 基礎有機化学(1) 基礎生物(2) 物理学(2) 有機化学(1) | 物理化学(1) 無機物理化学基礎演習(1) 無機化学(1) 生命科学(2) 分析化学実習(1) | | | | | | | 必修 31 単位 | |
| | | 臨床検査入門(1) 検査入門実習(1) | 医学概論(1) 解剖組織学(2) 生理学Ⅰ(1)** 生化学Ⅰ(1) 微生物学(1) 生体物質の化学(1) | 組織学実習(1)** 生理学Ⅱ(1)** 生化学Ⅱ(1) 生化学実習(1) 病理学(1) 免疫学(1)** 血液学(1)** 遺伝学(1) 生理学と日常生活(1) ※② 分子細胞生物学(1) ※② | 環境生理学(1)** ※② | | 薬理学(1) 薬物と検査(1) ※② 栄養学(1)** | | | | |
| | | 公衆衛生学Ⅰ(1)** | 公衆衛生学Ⅱ(1)** | 公衆衛生学実習(1) | | 保健医療福祉総論(1) | | | | | |
| | | 情報科学概論(1) 医療数理科学(1) | 医療工学(2) 検査機器総論(1) | 医療工学実習(1) | 医療統計学(1) | | ロボティクス演習(1) ※② | | | | |
| 基盤教育分野 「基盤教育分野」には、「ときわコンピテンシー」に掲げる諸能力の修得を促すための科目として「学びの始め科目群」「人間探究科目群」「創造実践科目群」を設置 | 基盤教育分野 必修 9 単位 | 創造実践科目群 | | ※①の選択科目は 基盤教育分野のカリキュラム表を参照 | | | | | | 必修 9 単位 | |
| | | 人間探究科目群 | 情報基礎(1) 英語コミュニケーションⅠ(1) | アカデミックライティング(1) 英語コミュニケーションⅡ(1) 生命と倫理(2) | | 生命と倫理(2) | | 生命と倫理(2) | 生命と倫理(2) | | |
| | | 学びの始め科目群 | まなぶる ▶ときわびとⅠ(2) | まなぶる ▶ときわびとⅡ(1) | | | | | | | |
| | 細胞検査士に関する科目 | | | | | 細胞検査学演習(1)* | 細胞検査学特論Ⅰ(2)* ※③ 細胞検査学特論Ⅱ(2)* | | | 備考1 | |
| | 第一種衛生管理者に関する科目 | | | 労働基準法(1)** | | | 労働安全衛生法規(3)** | | | 備考2 | |

備考1：細胞検査士認定試験受験資格の取得：卒業所要単位を修得するとともに*印の科目を修得し細胞検査士養成課程を修了しなければならない。
備考2：第一種衛生管理者免許受験資格の取得：卒業所要単位を修得するとともに**印の科目を修得しなければならない

医療検査学科 カリキュラムマップ

| 教育課程 | ディプロマポリシー | | 【DP1】 医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける。 | | 【DP2】 医療検査に必要な基礎知識および基本的な専門知識を修得する。 | | 【DP3】 医療検査の実践に必要な基本的技術を習得する。 | | 【DP4】 医療の発展に寄与できる問題解決能力、自己研鑽力を身につける。 | |
|------|-------------|-------------------|---|------------------------------------|--|---------------------------|---------------------------------|----------------------------|---|-------------|
| | 学修成果 | 理解し、相手を尊重した言動ができる | 多様な専門職者とチームを組む、相互に尊重しながら目的に向かって協働することができる | 自然科学や基礎医学などの医療検査に必要な基礎知識を修得し、応用できる | 医療検査の各専門分野のデータを解釈し、患者の病態を捉え説明することができる | 医療検査の実践に必要な基本的な検査技術を身につける | 医療の高度化に適した自ら学ぶ姿勢を身につける | 医学の発展に寄与するために必要な学的態度を身につける | 思考力・創造力・市民性 | 思考力・創造力・市民性 |
| 基礎 | 教育課程 | 関連 とぎわコンピテンシー | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| | | | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| 盤 | の学 科目群 | とぎわコンピテンシー | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| | | | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| 教 | 人間探求科目群 | とぎわコンピテンシー | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| | | | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| 育 | 人間探求科目群 | とぎわコンピテンシー | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| | | | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| 分 | 人間探求科目群 | とぎわコンピテンシー | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| | | | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| 野 | 創造実践 科目群 | とぎわコンピテンシー | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |
| | | | 知識・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力・市民性 |

| 専門 | 基礎 | |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 基礎 |
| 自然科学系 | 基礎 |
| | 基礎 |
| 基礎 | 基礎 | 基礎 | 基礎 | 基礎 | 基礎 | 基礎 | 基礎 | 基礎 | 基礎 | 基礎 |
| | 基礎 |
| 分野 | 基礎 |
| | 基礎 |

| 教育課程 | タイプ/ポリシー | 【DP1】 医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける。 | | 【DP2】 医療検査に必要な基礎知識および基本的な専門知識を修得する。 | | 【DP3】 医療検査の実践に必要な基本的技術を習得する。 | 【DP4】 医療の発展に寄与できる問題解決能力、自己研鑽力を身につける。 | | | | |
|---------------|---------------|---------------------------------------|--|--|---------------------------------------|---------------------------------|---|----------------------------|---------|--|--|
| | | いのちの尊さを理解し、相手を尊重した言動ができる | 多様な専門職者とチームを組む、相互に尊重しながらかつて目的に向かっていることができる | 自然科学や基礎医学などの医療検査に必要な基礎知識を修得し、応用できる | 医療検査の各専門分野のデータを解釈し、患者の病態を捉え説明することができる | | 医療の高度化に適した自ら学ぶ姿勢を身につける | 医学の発展に寄与するために必要な学的態度を身につける | | | |
| 専門基礎分野 | 学修成果 | 関連 とさわコンビテンション | 知識・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 創造力・市民性 | 創造力・市民性 | | |
| | | | 知識・市民性 | 知識・思考力・市民性 | 知識・思考力 | 知識・思考力 | 知識・思考力・市民性 | 創造力・市民性 | 創造力・市民性 | | |
| | | 医学系 社会系 | 公衆衛生学Ⅰ | | ○ | | | | | | |
| | | | 公衆衛生学Ⅱ | | ○ | | | | | | |
| | | | 公衆衛生学実習 | | | | | | | | |
| | | | 保健医療福祉総論 | | ○ | | | | | | |
| | | | 情報科学概論 | | | | | | | | |
| | | | 医療工学実習 | | | | | | | | |
| | | | 医療機器総論 | | ○ | | | | | | |
| | | | 医療統計学 | | | | | | | | |
| 形態検査学系 | 口ボティクス演習 | | | | | | | | | | |
| | 医療数理科学 | | ○ | | | | | | | | |
| | 臨床病理検査学 | | | | | | | | | | |
| | 臨床病理検査学実習Ⅰ | | | | | | | | | | |
| | 臨床病理検査学実習Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 血液検査学Ⅰ | | | | | | | | | | |
| | 血液検査学実習Ⅰ | | | | | | | | | | |
| | 血液検査学実習Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 血液検査学実習Ⅲ | | | | | | | | | | |
| | 細胞検査学実習 | | | | | | | | | | |
| 生物化学分析検査学系 | 細胞検査学実習 | | | | | | | | | | |
| | 臨床化学検査学Ⅰ | | | | | | | | | | |
| | 臨床化学検査学Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 臨床化学検査学実習 | | | | | | | | | | |
| | 遺伝子・染色体検査学 | | ○ | | | | | | | | |
| | 遺伝子・染色体検査学実習 | | | | | | | | | | |
| | 基礎検査学 | | | | | | | | | | |
| | 基礎検査学実習 | | ○ | | | | | | | | |
| | 免疫検査学 | | | | | | | | | | |
| | 免疫検査学実習 | | ○ | | | | | | | | |
| 病因・生体防御検査学系 | 輸血・移植検査学 | | | | | | | | | | |
| | 輸血・移植検査学実習 | | | | | | | | | | |
| | 病原微生物検査学Ⅰ | | | | | | | | | | |
| | 病原微生物検査学Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 病原微生物検査学実習Ⅰ | | | | | | | | | | |
| | 病原微生物検査学実習Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 生理機能検査学Ⅰ | | | | | | | | | | |
| | 生理機能検査学Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 生理機能検査学Ⅲ | | | | | | | | | | |
| | 呼吸・循環機能検査学 | | | | | | | | | | |
| 生理機能検査学系 | 画像検査学 | | | | | | | | | | |
| | 画像検査学実習Ⅰ | | | | | | | | | | |
| | 生理機能検査学実習Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 生理機能検査学実習Ⅲ | | | | | | | | | | |
| | 生理機能検査学演習 | | | | | | | | | | |
| | 臨床病態学Ⅰ(病因・病態) | | | | | | | | | | |
| | 臨床病態学Ⅱ(病態解析) | | | | | | | | | | |
| | 臨床病態学Ⅲ(発展) | | | | | | | | | | |
| | 臨床検査学演習 | | | | | | | | | | |
| | 臨床検査学実習 | | ○ | | | | | | | | |
| 臨床病態学・検査管理学系 | 総合検査管理総論 | | | | | | | | | | |
| | 検査管理総論 | | | | | | | | | | |
| | 感染制御学 | | | | | | | | | | |
| | 医療コミュニケーション | | | | | | | | | | |
| | 医療コミュニケーション実習 | | | | | | | | | | |
| | 検体採取安全管理演習 | | | | | | | | | | |
| | 臨床検査安全管理演習 | | | | | | | | | | |
| | 臨床検査安全管理演習Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 臨床検査安全管理演習Ⅲ | | | | | | | | | | |
| | 臨床検査安全管理演習Ⅳ | | | | | | | | | | |
| 総合・発展医療検査学系 | 医療実地実習 | | | | | | | | | | |
| | 医療実地実習Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 卒業研究 | | | | | | | | | | |
| | 国際保健医療活動Ⅰ | | | | | | | | | | |
| | 国際保健医療活動Ⅱ | | | | | | | | | | |
| | 臨床病態学特論 | | | | | | | | | | |
| | 分子感染制御学演習 | | | | | | | | | | |
| | 臨床検査学発展演習 | | | | | | | | | | |
| | 対人援助技術演習 | | | | | | | | | | |
| | 予防医学概論 | | | | | | | | | | |
| 遺伝子工学 | | | | | | | | | | | |
| 文献講義 | | | | | | | | | | | |
| 先進医療検査学 | | | | | | | | | | | |
| 細胞検査学特論Ⅰ | | | | | | | | | | | |
| 細胞検査学特論Ⅱ | | | | | | | | | | | |
| バイオインフォマティクス | | | | | | | | | | | |
| 細胞培養演習 | | | | | | | | | | | |
| 遺伝子工学演習 | | | | | | | | | | | |
| 労働衛生学Ⅰ | | | | | | | | | | | |
| 労働衛生学Ⅱ | | | | | | | | | | | |
| BSキヤリアパスⅠ | | | | | | | | | | | |
| BSキヤリアパスⅡ | | | | | | | | | | | |
| 医学検査サプリメント演習Ⅰ | | | | | | | | | | | |
| 医学検査サプリメント演習Ⅱ | | | | | | | | | | | |
| 総合検査特論 | | | | | | | | | | | |
| 労働基準法 | | | | | | | | | | | |
| 労働安全衛生法 | | | | | | | | | | | |

MEMO

学科別履修要領／医療検査学科

| 区分 | 授業科目 | 授業形態 | 単位数 | | | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 備考 |
|---------------|--------------|---------------|---------|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 専 | 形態検査学系 | 臨床病理検査学 | 講義 | 1 | | | | | 1 | | | | | ↑ |
| | | 臨床病理検査学実習Ⅰ | 実習 | 1 | | | | 1 | | | | | | |
| | | 臨床病理検査学実習Ⅱ | 実習 | 1 | | | | | 1 | | | | | |
| | | 血液検査学 | 講義 | 1 | | | | | 1 | | | | | |
| | | 血液検査学実習Ⅰ | 実習 | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| | | 血液検査学実習Ⅱ | 実習 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 医動物学・同実習 | 講・実 | 2 | | | 2 | | | | | | | |
| | | 細胞検査学 | 講義 | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| | | 細胞検査学演習 | 演習 | | 1 | | | | | | 1 | | | |
| | | 門 | 生物化学分析系 | 臨床化学検査学Ⅰ | 講義 | 1 | | | | | 1 | | | |
| 臨床化学検査学Ⅱ | 講義 | | | 2 | | | | | | 2 | | | | |
| 臨床化学検査学実習Ⅱ | 実習 | | | 2 | | | | | | | 2 | | | |
| 遺伝子・染色体検査学 | 講義 | | | 2 | | | | | | | | 2 | | |
| 遺伝子・染色体検査学実習 | 実習 | | | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 基礎検査学 | 講義 | | | 2 | | | | | 2 | | | | | |
| 基礎検査学実習 | 実習 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| 免疫検査学 | 講義 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| 免疫検査学実習 | 実習 | | | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 分 | 病因・生体防御系 | | | 輸血・移植検査学 | 講義 | 1 | | | | | | 1 | | |
| | | 輸血・移植検査学実習 | 実習 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 病原微生物検査学Ⅰ | 講義 | 2 | | | | | | 1 | | | | |
| | | 病原微生物検査学Ⅱ | 講義 | 1 | | | | | | | 2 | | | |
| | | 病原微生物検査学実習Ⅰ | 実習 | 1 | | | | | 1 | | | | | |
| | | 病原微生物検査学実習Ⅱ | 実習 | 2 | | | | | | 2 | | | | |
| | | 生理機能検査学ⅠA | 講義 | 1 | | | | | 1 | | | | | |
| | | 生理機能検査学ⅠB | 講義 | 1 | | | | | 1 | | | | | |
| | | 生理機能検査学ⅡA | 講義 | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| | | 生理機能検査学ⅡB | 講義 | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| 野 | 生理機能検査学系 | 呼吸・循環機能検査学 | 講義 | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| | | 画像検査学 | 講義 | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| | | 生理機能検査学実習Ⅰ | 実習 | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| | | 生理機能検査学実習Ⅱ | 実習 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 生理機能検査学演習 | 演習 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 臨床病態学Ⅰ(病因・病態) | 講義 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 臨床病態学Ⅱ(病態解析) | 講義 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 臨床病態学Ⅲ(発展) | 講義 | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| | | 臨床検査学演習 | 演習 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 総合医学検査演習 | 演習 | 2 | | | | | | | | | 1 | |
| 野 | 臨床病態学・検査管理学系 | 検査管理総論 | 講義 | 1 | | | | | | 2 | | | | |
| | | 感染制御学 | 講義 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 医療コミュニケーション | 講義 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 医療安全論 | 講義 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 検体採取安全管理演習 | 演習 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 臨床地実習 | 実習 | 7 | | | | | | | | 7 | | |
| | | 医療英語 | 演習 | 1 | | | | | 1 | | | | | |
| | | 卒業研究 | 演習 | 4 | | | | | | | | | 4 | |
| | | 国際保健医療活動Ⅰ | 講義 | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| | | 国際保健医療活動Ⅱ | 演習 | | 1 | | | | | | 1 | | 1 | |
| 野 | 総合・発展医療検査学系 | 臨床病態学特論 | 講義 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 分子感染制御学演習 | 演習 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 臨床検査学発展演習 | 演習 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 対人援助技術演習 | 演習 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 予防医学概論 | 講義 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 遺伝子工学 | 講義 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 文献講読 | 演習 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | チム医療論 | 講義 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| | | 先進医学検査学 | 講義 | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 細胞検査学特論Ⅰ | 講義 | 2 | | | | | | | | | 2 | |
| 細胞検査学特論Ⅱ | 講義 | 2 | | | | | | | | | 2 | | | |
| バイオインフォマティクス | 講義 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 細胞培養演習 | 演習 | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 遺伝子工学演習 | 演習 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 労働衛生学Ⅰ | 講義 | 2 | | | | | | | 2 | | | | | |
| 労働衛生学Ⅱ | 講義 | 2 | | | | | | | | | 2 | | | |
| BLSキャリアパスⅠ | 講義 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| BLSキャリアパスⅡ | 講義 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 医学検査サプリメント演習Ⅰ | 演習 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 医学検査サプリメント演習Ⅱ | 演習 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 総合医学検査特論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | 2 | | | |
| 労働基準法 | 講義 | | | 1 | | | | 1 | | | | | | |
| 労働安全衛生法規 | 講義 | | | 3 | | | | | | | | 3 | | |
| 合計 | | | 103 | 82 | 10 | | | 79 | | 42 | | 53 | | 21 |

(注意) 1. 授業科目の学年配当は標準を示すものです。時間割表と一致しない場合がありますので注意すること。

II 履修上の注意事項

1. 臨床検査技師国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学に4年以上在学し、学則第35条第1項第1号に定める単位すなわち、上記卒業所要単位を修得しなければならない。

2. 細胞検査士資格認定試験の受験資格を取得する場合

細胞検査士とは日本臨床細胞学会が認定する学会認定資格である。細胞診検査では光学顕微鏡で種々の細胞を観察し、各種病変の推定診断を行う。この検査は悪性腫瘍（ガン）や炎症性疾患などの早期発見・早期診断に極めて重要な検査法の一つで検査の結果は患者の診断・治療方針に直接・密接に関わっている。細胞診検査に従事する細胞検査士には、その検査を行うにふさわしい知識・技術・判断力が要求される。

細胞検査士になるためには、細胞検査士資格認定試験の受験資格を得て認定試験に合格しなければならない。本学には日本細胞学会に認定された細胞検査士養成課程があり、この課程を修了し所定の条件を満たした者には受験資格が与えられ、在学中（4年次）に受験することが可能である。

(1) 細胞検査士資格認定試験受験資格の要件

本学の養成課程において、日本臨床細胞学会に認定試験の受験申請を行うことができる者は、次の①および②をすべて満たす者である。

- ① 臨床検査技師国家試験受験資格を取得する見込みの者、即ち医療検査学科の卒業所要単位を修得する見込みの者。
- ② 細胞検査士養成課程（4年次）にて「細胞検査学特論Ⅰ」「細胞検査学特論Ⅱ」を含む900時間以上の所定の課程を原則として入学後4年目に修了した者。

(2) 「細胞検査学特論Ⅰ」「細胞検査学特論Ⅱ」の履修要件

3年次修了までに「細胞検査学」「細胞検査学演習」の単位を全て修得していること。

(3) 細胞検査士資格認定試験

最終学年（4年次）の10月に1次試験、12月に2次試験が行われる。2次試験合格者は仮合格となり、同年度の臨床検査技師国家試験に合格すれば、正式に細胞検査士資格認定試験合格となる。なお、臨床検査技師国家試験不合格の場合、細胞検査士資格認定試験の仮合格は取り消しとなる。

(4) その他

- ① 養成課程の受講生は15名以内とする。
- ② 細胞検査士養成課程に進むためには、基礎的な科目である「細胞検査学」「細胞検査学演習」に加え「解剖組織学」「組織学実習」「病理学」「臨床病理検査学」「臨床病理検査学実習Ⅰ」「臨床病理検査学実習Ⅱ」およびその他の科目について一定以上の優秀な成績を修めていることを条件とする。
- ③ 学費とは別に養成課程の費用を徴収する。徴収した費用は返還しません。
- ④ 養成課程の詳細は別途資料を参照のこと。

3. 第一種衛生管理者免許を取得する場合

衛生管理者は労働安全衛生法に定められている国家資格で、常時50人以上の労働者を使用する事業場では、衛生管理者を専任することが義務づけられている。衛生管理者の免許を有する者のうちから労働者数に応じ一定数以上の衛生管理者を選任し、安全衛生業務のうち、衛生に係わる技術的な事項を管理させることが必要である。第一種衛生管理者免許を有する者は、有害業務を含むすべての業種の事業場において衛生管理者となることができる。主な職務として、労働者の健康障害を防止するための作業環境管理、作業管理及び健康管理、労働衛生教育の実施、健康の保持増進措置などである。具体的には、作業環境の衛生上の調査、健康に異常がある者の発見と処置、衛生用保護具または救急用品等の点検および整備、作業条件および施設等の衛生上の改善、衛生教育および健康相談その他労働者の健康保持に必要な業務を行う。

(1) 第一種衛生管理者免許取得の要件

労働安全衛生規則第62条により、大学において保健衛生に関する学科を専攻し卒業した者または大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者で、労働衛生に関する科目を修得することにより、第一種衛生管理者の免許取得に当たり試験が免除される。

すなわち、本学医療検査学科の卒業所要単位を修得するとともに、別表Aに示す「第一種衛生管理者免許取得に必要な単位数」の31単位を修得しなければならない。

(2) 第一種衛生管理者免許の申請

本学医療検査学科を卒業後、住所地の都道府県労働局に申請することにより、第一種衛生管理者免許を取得できる。免許の申請には、所定の科目を修得した証明書が必要となる。

別表A 第一種衛生管理者免許取得に必要な単位数

| 区分 | 医療検査学科で開設している授業科目 | 授業形態 | 開設単位数 | | | 免許取得に必要な単位数 | |
|----------|-------------------|------|-------|----|----|-------------|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 必修 | 選択 |
| 教育基盤 | 統計学 | 講義 | | 1 | | 1 | |
| 専門基礎分野 | 解剖組織学 | 講義 | 2 | | | 2 | |
| | 生理学Ⅰ | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 生理学Ⅱ | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 免疫学 | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 血液学 | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 栄養学 | 講義 | | 1 | | 1 | |
| | 環境生理学 | 講義 | | 1 | | 1 | |
| | 公衆衛生学Ⅰ | 講義 | 1 | | | 1 | |
| 公衆衛生学Ⅱ | 講義 | 1 | | | 1 | | |
| 専門分野 | 血液検査学 | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 基礎検査学 | 講義 | 2 | | | 2 | |
| | 病原微生物検査学Ⅰ | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 病原微生物検査学Ⅱ | 講義 | 2 | | | 2 | |
| | 生理機能検査学ⅠA | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 生理機能検査学ⅠB | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 生理機能検査学ⅡB | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 感染制御学 | 講義 | 1 | | | 1 | |
| | 対人援助技術演習 | 演習 | | 1 | | 1 | |
| | 予防医学概論 | 講義 | | 1 | | 1 | |
| | 労働衛生学Ⅰ | 講義 | | 2 | | 2 | |
| | 労働衛生学Ⅱ | 講義 | | 2 | | 2 | |
| | 労働基準法 | 講義 | | | 1 | 1 | |
| 労働安全衛生法規 | 講義 | | | 3 | 3 | | |
| 合計 | | | 18 | 9 | 4 | 31 | |